

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

真

田

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

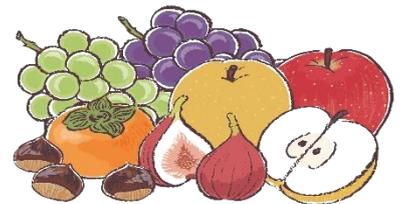
第56号 2018年 10月 1日発行【真田地域に全戸配布】



9月9日（日）アザレアンの敬老会「いきいき祭り」が、真田中央公民館で行われました。

お写真は8月で103歳になられた中沢志づ可様です。週3回デイサービスをご利用され、とてもお元気です。

当日は、舞ドリーム様のダンス、真田中学校の吹奏楽班様の演奏、新田の風一座様の踊りなど楽しませていただきました。





真田町の社長さん 第27回

三 窯 様の巻

今回ご紹介致しますのは、陶芸工房「三窯」代表の阿部春弥さんです。傍陽地区生まれで、その後角間地区で成長されました。現在は、奥様と、お二人のお子様と長地区にお住まいです。

阿部さんが陶芸を始められたきっかけは、お父様が陶芸家でいらしたことであったそうです。奥様と三窯として独立し、13年ほどだそうです。阿部さんが手掛けているのは、陶芸の中でも「磁器」と言うもので、陶器と磁器の違いは材料にあり、陶石（とうせき）と言う石を粉状にしたものを用います。その土は、九州より取り寄せます。一回に300キロほど注文するという事で、郵便で届くのですが、車体が沈み込むほどの重量なので、「郵便屋さんがかわいそうなんですがね～」と言われていました。



磁器に使う土は産地が少なく、そのため、磁器を制作する人も少ないそうです。そのように希少な材料で制作される磁器は、丈夫でかけにくく、料理の油を吸い込まないという特徴が陶器との違いであるそうです。その丈夫さは、焼き締める事で生まれます。窯では1260℃で焼くそうです、磁器は窯の中を電気ですべて温度を上げ、さらにガスを使い



無酸素状態にすることで、化学反応で色がでるそうです、色は白、黄、瑠璃、淡瑠璃があるそうです。取材にお伺いした時は主に食器が多いが、色々ありますよと、花器、箸置きやキャンドルスタンドを見せて頂きました。作業工程は粘土を調合することからで、ここにも無酸素状態で調合する機器があるのだと教えて下さいました、主に食器はその後、型と言われる石膏型で成型、乾燥させるそうですが、この時直射日光があたると、歪みやわれの原因になるそうです。そして素焼きの工程を経て釉薬にくぐらせた焼くそうです。その他にも高台の削りと言う作業もあるそうです。この

日は型を作るさらに前段階の作業をされており、型紙を起こすことは、とても緻密な作業で数学的な知識も必要だそうです。この型を使うことにより同型の製品になり、買い足しても良いし、収納にも便利と言う事です。

製品にするまでには、概ね3週間ほどかかるそうで、その間工房にこもる事が多くなるので「前向きな引きこもりと言っている」と笑っておいででした。

最近作るのは、30cmほどの製品が多いそうです。大皿も作ることは可能だが需要が減っているそうです。また阿部さんは、焼き上がりで製品にならない物が少々出るが、捨てる事はせず知人に譲ったりするそうです。そして動物の資料も見せて頂き、「だいたいで作ると何かわかなくなる」と、細部にわたり作り込むこだわりを垣間見る瞬間でした。そして、あらためて磁器に触らせて頂きましたが、その表面は焼きの時ガラス質に変化することでつややかで透明感があり、その磁肌は高貴で凛とした佇まいを感じました。

阿部さんは年2～3回個展を行うそうです。県内では鹿教湯にて行われそうですので、三窯の作品に出会ってみてはいかがでしょうか。



上田市社会福祉協議会 真田地域包括支援センターだより

平成30年10月



<職員紹介>

新しい職員を紹介します。
よろしくお願ひいたします。
社会福祉士：大日方まゆ美（写真）

運動教室-笑顔で元気-のお知らせ

◎時 間 10時45分～11時45分

◎会 場 真田総合福祉センター2階大会議室

◎参加費（保険代） 100円

◎持ち物 ・水分補給のための飲み物 ・運動靴
・大きめのバスタオル、レジャーシート

月	日	曜日
10月	10日	水
11月	14日	水
12月	12日	水
1月	9日	水
2月	13日	水
3月	13日	水

3 地域包括合同地域ケア会議を開催しました

H30.9.3. 神川・神科・真田地域合同で「精神疾患を抱えるご本人・ご家族への支援と連携」～地域での支え合いを考える～をテーマに、地域の自治会長、民生児童委員、居宅介護支援事業所の皆様にご参加いただいて開催しました。

講師は特定非営利活動法人ノア 代表勝俣啓子氏にお越しいただき、認知症や精神疾患等を抱えるご家族やご本人を地域で、どのように支えていくことが重要なのかについて考え、理解を深める良い機会となりました。



体操で楽しく身体を動かしたり、スクエアステップでは頭も使うことで認知症や要介護状態などを予防する運動教室です。

お問い合わせ

電話 (0268) 72-8055

有線 2080

〒386-2201

上田市真田町長7190番地

(真田総合福祉センター内)

— 地域でねばる —

第1回さなだ支え合い研修会

自宅で最後まで暮らしたい・・・どうする？

日時 平成30年10月14日(日)

13:00 受付

13:30～16:00(予定)

会場 真田中央公民館大ホール

**入場無料
予約不要
定員150名**

共催：上田市社会福祉協議会真田地区センター、真田包括支援センター、
真田の郷まちづくり推進会議、かりがね福祉会、アザレアンさなだ、

アザレアンさなだ

～地域支え合い事業～

すぐに役立つ介護塾

現在「在宅」で介護を行っている方、今後必要な方や地域の皆さん。また第2の社会参加をお考えの方や興味のある方等を対象に「すぐに役立つ介護塾」を企画しました。

第1回目今回は「基礎編」の合計4回の講座です。【すぐに役立つ】講座ですから、ご家庭で役立つ内容も盛り沢山。人数も限定ですから気軽に質問もできます。※第2回以降は中級編を計画しています。

【第1回開催日程と講座(予定)】

※各回出席を取ります。※各回興味のある1回のみ受講も可能です。

1日目：10月28日(日)

・介護保険制度と施設の種類 ・薬の知識と 医療のサイン
・上手なお医者様との付き合い方

2日目：11月 4日(日)

・排泄について ・用具や種類 ・注意すること、事故例

3日目：11月11日(日)

・福祉用具について ・ベット、車いすの使い方 ・移乗動作について

4日目：11月18日(日)

・食事について ・形態や種類 ・注意すること、事故例

受講料無料

定員 20名

会場 デイビスタアザレアン

時間 9:00～12:00

年齢不問

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

ホームページ <http://www.azarean.jp>

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010

E-mail keijinfukushi@azarean.jp

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。